

令和 7 年度 宮城県建設センター研修 「体験型／施工管理研修＜集合型＞」実施要領

令和 7 年 8 月 2 0 日現在

1 目 的

国土交通省東北地方整備局東北技術事務所が提供している体験型土木実習施設において、コンクリートの施工不良箇所を再現した構造物や橋梁下部工・上部工、函渠工等の実物大構造物を見学しコンクリート打設において必要な品質管理の基礎や各施設構築の施工手順、施工管理上の留意点等を実習しながら習得し、工事監督・検査等、品質の良否を判断する基礎技術力を身につけ、行政機関の土木技術職員としての資質の向上を目的とする。

2 主 催 公益社団法人宮城県建設センター

3 対象者

県及び市町村の土木関係部署に所属する実務経験の浅い職員、若手を指導する中堅職員

4 募集定員 15 名程度（県、市町村等）

5 研修日時

令和 7 年 9 月 2 4 日（水）午後 1 時 0 0 分から 午後 4 時 0 0 分まで

6 研修場所

国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所

住所：多賀城市桜木 3 丁目 6 - 1 別紙 地図参照

<https://www.thr.mlit.go.jp/tougi/shokai/shokai.html>

7 研修内容 カリキュラム（別紙 - 1）のとおり

8 申込先及び問合せ先 公益社団法人宮城県建設センター 総務企画部 総務課 企画研修係

（TEL：022-263-1432）

＜申込み方法＞ 申込方法は、『[研修会申込情報管理システム](#)』のみとなります。別紙 詳細参照
各団体において取りまとめの上、ホームページ <http://www.m-ctc.com/> から『研修会申込
情報管理システム』に、申込者担当者・連絡先情報を入力の上、【申込書 Excel ファイルを添付】
し、お申込みください。

※なお、開催日の 3 日前になっても受講決定通知がないときは、担当部署まで連絡願います。

9 研修受講料 無料 研修旅費は、各研修生の所属において負担する。

10 申込締切日 令和 7 年 9 月 9 日（火）午後 1 時必着

11 準備するもの

（1）名札（2）筆記用具（3）バインダー等（必要に応じて）

テキスト等の資料は会場で配付されますので、書き込み等の際は、バインダーがあると便利です。

12 その他

本研修は、令和 6 年度「体験型実習／施工管理研修＜集合型＞」と同じ内容で実施いたします。
昨年度に受講された方の受講にあたってはご注意ください。

- (1) 研修当日は、指定された集合場所において、時間内に受付を済ませること。
- (2) 研修受講中の服装は作業着着用を義務付けておりませんが、研修にふさわしい常識的なものを着用し、屋外見学研修の際、各自において暑さ対策をすること。
- (3) 名札・筆記用具等は各自持参すること。
- (4) 駐車台数には限りがあり、同じ自治体において、乗り合わせの来場など、ご協力願います。
- (5) お申込みいただいた後に、会場受講人数を調整していただく場合がございますので、**複数名を
申込む場合、優先順位を記載してください。**

◇当日の遅刻・欠席について

開催時間前に、必ず下記へ連絡してください。

県及び市町村：（公社）宮城県建設センター総務企画部 総務課（[TEL:022-263-1432](tel:022-263-1432)）

仙台市の場合は、技術管理室にも連絡をしてください。

◆受講された方々の声

- ・コンクリートの施工において、不適切な打設や締固めがあると、出来上がるコンクリートの品質に大きな影響を及ぼすことが知れて、大変有意義でした。
- ・橋梁の不具合について、机上の資料でしか見たことが無かったので、実際に見ることができ理解が深まった。
- ・不適切施工や非破壊検査など実際目にする機会がなかったので、大変参考になった。
- ・設備屋なので基本的と思われる部分も分からないところがあり、とても勉強になった。
設備でも基礎に関わる部分があるので、より基礎的なことも学びたいと思った。
- ・震災で影響を受けた構造物を実物スケールで実際に見たり、触れたりすることができた点が、とても興味深く、理解も深まった。

< 申込み方法・詳細 > 申込方法は、**『研修会申込情報管理システム』のみ**となります。

- ① 各団体において取りまとめの上、ホームページ <http://www.m-ctc.com/> から『研修会申込情報管理システム』にアクセスし申込者担当者・連絡先情報を入力の上、【申込書 Excel ファイルを添付】して申込む。

標記研修の受講希望者については、下記のとおりです。						複数名を申込む場合、入れてください		
	NO.	市町村コード等	市町村名	所属部名	所属課名	職名	氏名	優先順位
記載例	1	901	建設センター	建設部	建設課	係長	○ × ○ 男	1
	2	206	白石市	建設部	建設課	技師	○ × ○ 子	2
	3	323	柴田町		都市建設課	技師	○ × ○ 男	1
	4	581	女川町		建設課	技術主査	○ × ○ 男	1
	1		#N/A					
	2		#N/A					

こちらから、
市町村名を必ず
選択してください

申込書ファイルを添付(Excel)して申込む

例) 受講希望を取りまとめ、下記に必要事項記入し、**『参照欄に、
取りまとめファイルを添付の上、申込みをしてください。』**

(別紙－１)

令和6年度 宮城県建設センター研修 「体験型／施工管理研修＜集合型＞」

カリキュラム

研修日：令和7年9月24日（水）

R7.08.20現在

研修場所：東北技術事務所

時 間	科 目	講 師	備 考
12:45 ～ 13:00	会場受付	公益社団法人宮城県建設センター	0:15
13:00 ～ 14:00	コンクリートⅠ：不適切施工 ・コンクリート構造物の不適切な施工による材料分離、豆板、コールドジョイント等の不具合事例について、発生原因や防止方法などを学習する。	国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所	1:00
14:00 ～ 14:30	コンクリートⅡ：表層品質と耐久性 ・コンクリート構造物の施工の丁寧、不適切の違いによる表層品質や耐久性への影響を学習する。	国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所	0:30
14:30 ～ 15:30	橋梁上部工：鋼箱桁、PC桁、損傷RC版 ・東日本大震災による被災橋梁及び塩害等で使用不能となった橋梁上部工モデル（実物）により、構造形式、被災状況、劣化損傷状況を学習する。	国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所	1:00
15:30 ～ 16:00	コンクリートⅢ：非破壊検査 ・コンクリートの品質等の確認のための非破壊検査の方法や使用上の注意点を学習する。 ・テストハンマーによるコンクリート強度の測定 ・鉄筋探査器によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定	国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所	0:30
16:00 ～ 16:10	閉講（アンケート記入等）		0:10

※カリキュラムは、当日の天候や講師の都合により変更することがあります。

場所：国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所

住所：多賀城市桜木3丁目6－1

<https://www.thr.mlit.go.jp/tougi/shokai/shokai.html>

（ページ内の交通アクセスを確認）

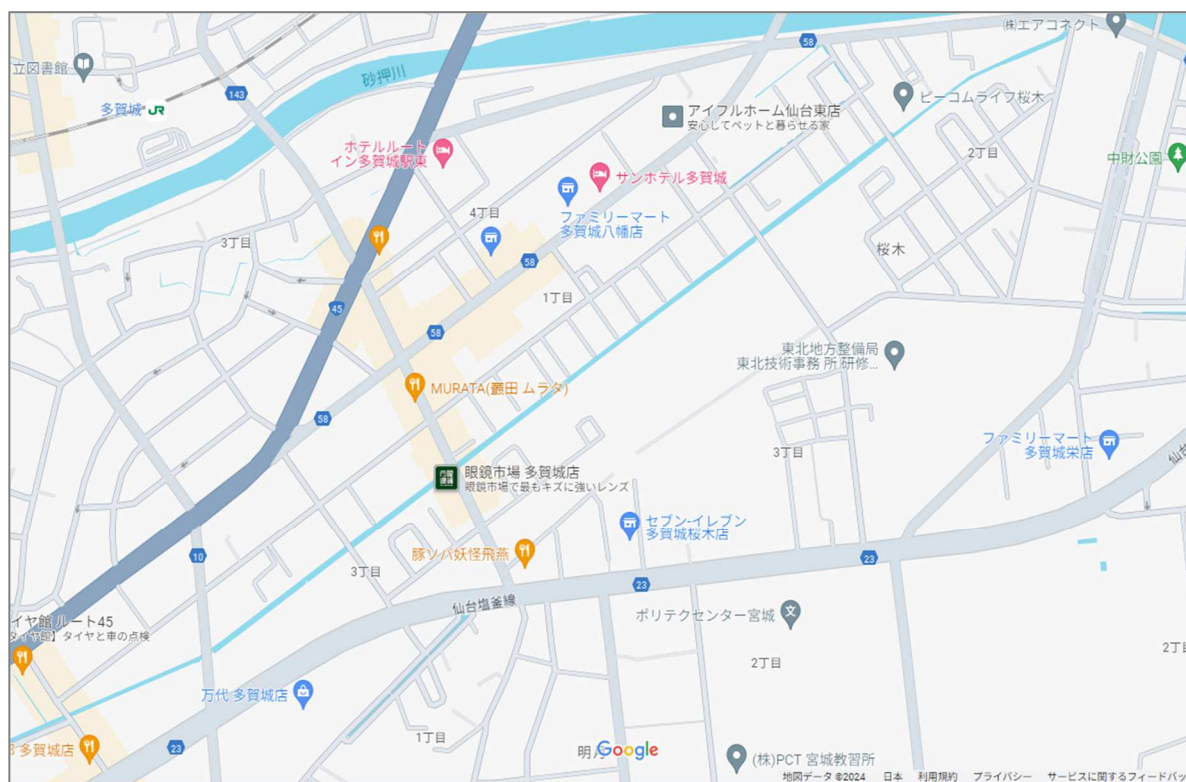
【研修場所】 国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所

住所：多賀城市桜木3丁目6－1

<https://www.thr.mlit.go.jp/tougi/shokai/shokai.html> （ページ内の交通アクセスを確認）

公共交通機関の場合：JR 仙石線の多賀城駅から徒歩 20 分、車で約 10 分。

バスでお越しの場合は、多賀城駅前『1 番のりば』から宮城交通 汐見台団地線 菖蒲田行きに
乗車、『桜木三丁目』下車、目の前です(約 10 分)



↑ ↑ 国土交通省 東北地方整備局 東北技術事務所 HP「交通アクセス」より抜粋

●体験型土木構造物実習施設のパンフレット（PDF）

<https://www.thr.mlit.go.jp/tougi/gijutsuryoku/jinzai/taikengata.html>

◇当日の遅刻・欠席について

開催時間前に、必ず下記へ連絡してください。

県及び市町村：（公社）宮城県建設センター総務企画部 総務課（[TEL:022-263-1432](tel:022-263-1432)）

仙台市の場合は、技術管理室にも連絡をしてください。